

モノ、エネルギー、そして水を大切に使い、 環境に負担をかけないまち

環境への負荷を低減するためには、市民一人ひとりや個々の事業所における努力が不可欠になります。日常生活や事業活動における様々な形での環境負荷を低減するため、省資源・省エネルギーや廃棄物の減量・リサイクルが重要視されます。環境に配慮した生活は、とても不便であるように感じられるかも知れません。

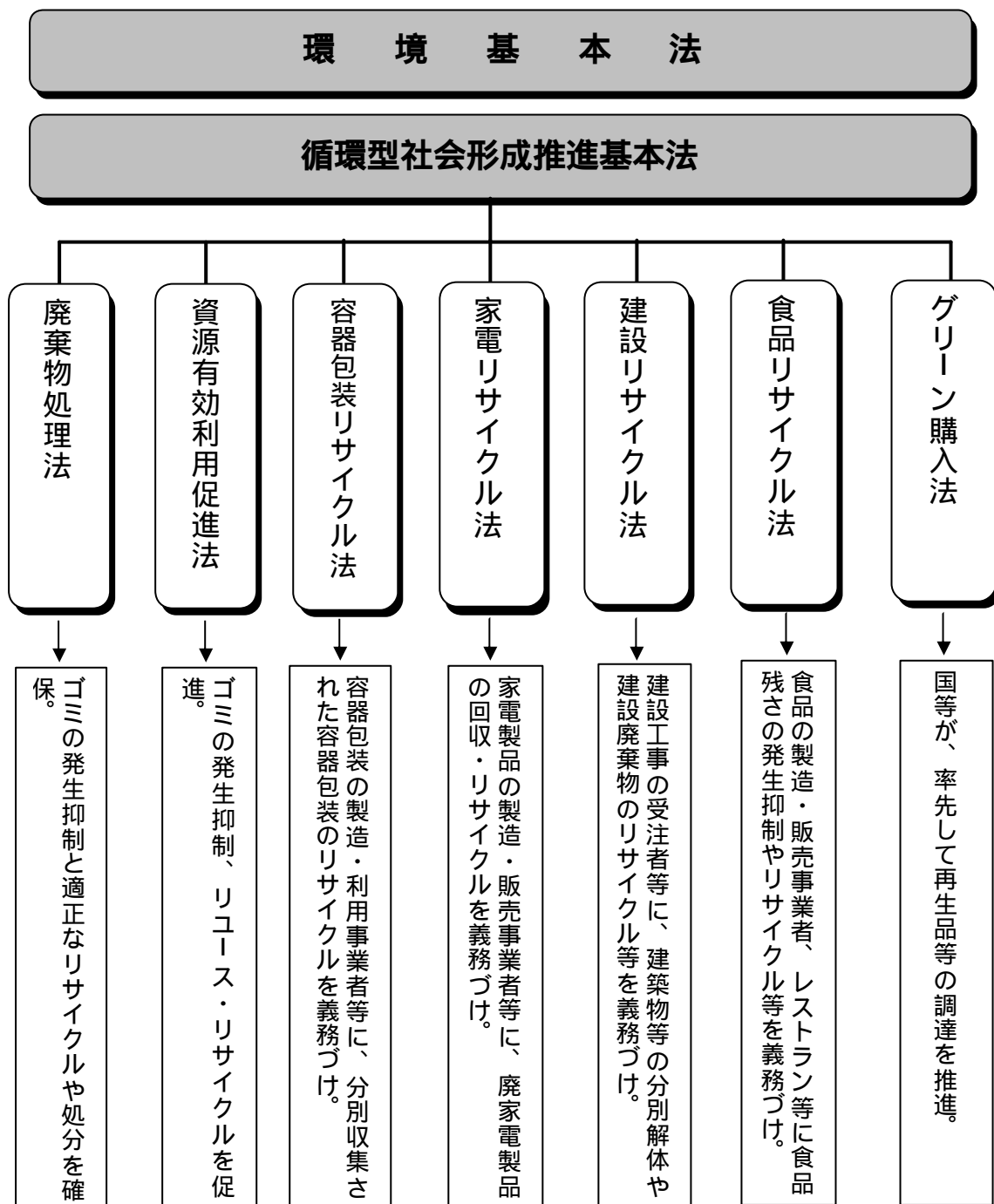
しかし、市民や事業者間にも環境に配慮した行動を選択していくという認識が高まっています。今後、より積極的な行動に向けた啓発活動を行うことにより、全ての市民、事業者の参加による「モノ、エネルギー、そして水を大切に使い、環境に負担をかけないまち」を目指します。



クリントピア丸亀

5 1 循環型社会への挑戦

21世紀は、これまでの「使い捨て社会」から貴重な資源を有効に使う「循環型社会」の形成に取り組む世紀です。循環型社会の形成に向け、平成12年5月に「循環型社会形成推進基本法」が制定されました。また、これに合わせて、廃棄物処理法の改正など5つの個別の法律も整備されました。



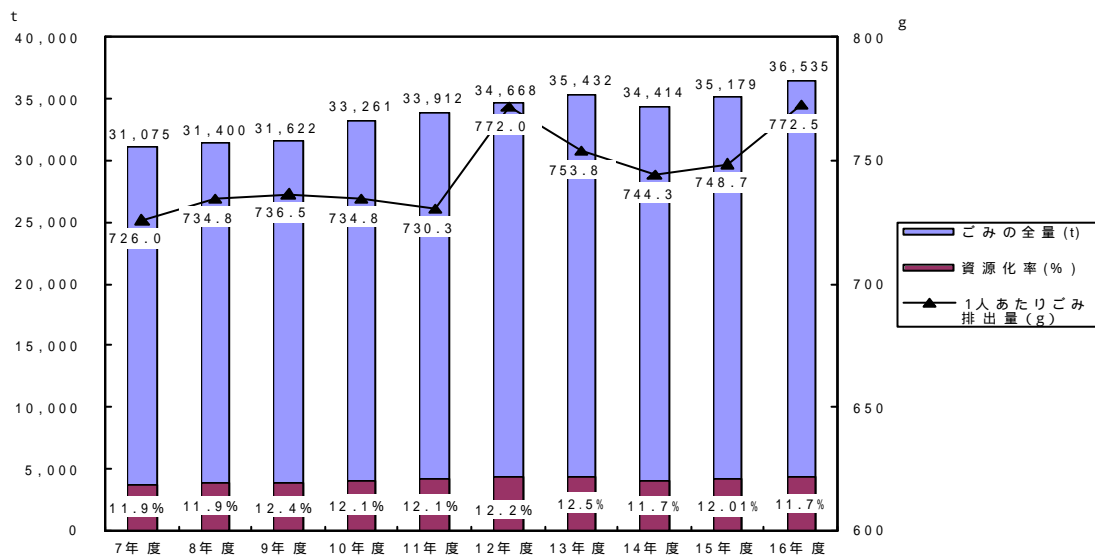
5 2 環境にやさしいライフスタイルの定着

現代日本を築いてきた、大量生産、大量消費、大量廃棄社会は、資源の循環を損ない、確実に環境に悪影響を及ぼしています。資源には限りがあり、今後はこれらのライフスタイルを改め、「ごみをださない、モノを再使用する、モノ(ごみ)を再利用する」という基本に立って、ごみの減量と適切な処理、リサイクルの推進(エコ丸工房などの活用)によって、捨てるごみの少ない社会を築くことを目指します。

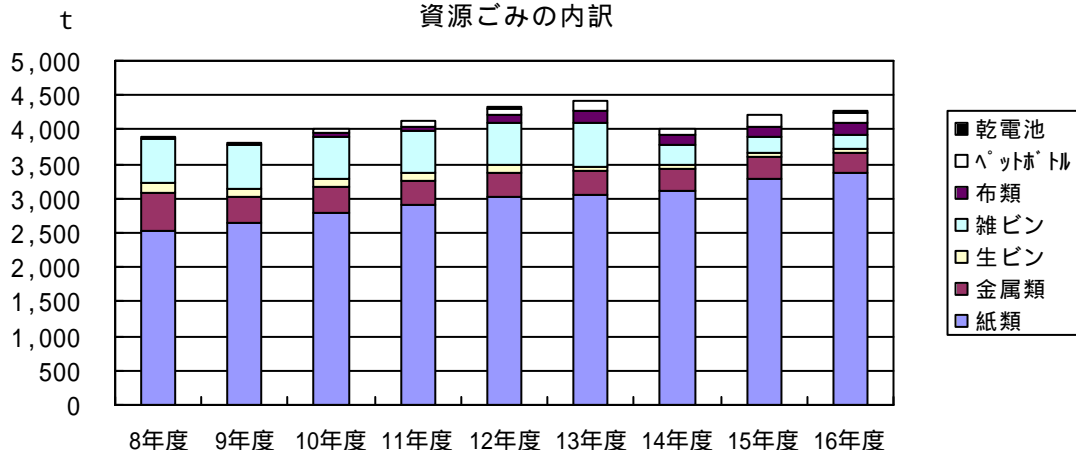
5-2-1 ごみの排出抑制と適正な処理

丸亀市の平成16年度におけるごみ(一般廃棄物)の量は、年間36,535tで増加傾向にあり、そのうち家庭ごみの量は、28,469tとごみ全体の約8割を占めています。なお、平成16年度の資源回収量を除く、1人1日あたりの家庭のごみ排出量は、772.5gとなっています。

一般廃棄物の状況 ごみの排出量・資源化率



資源ごみの内訳



5 3 クリントピア丸亀発・地球環境の保全

地球環境の保全には、地域レベルからの活動が必要です。

クリントピア丸亀では、ごみ焼却熱の再利用、フロンの回収や資源のリサイクルが行われているなど、地球環境を保全するための活動が進められています。

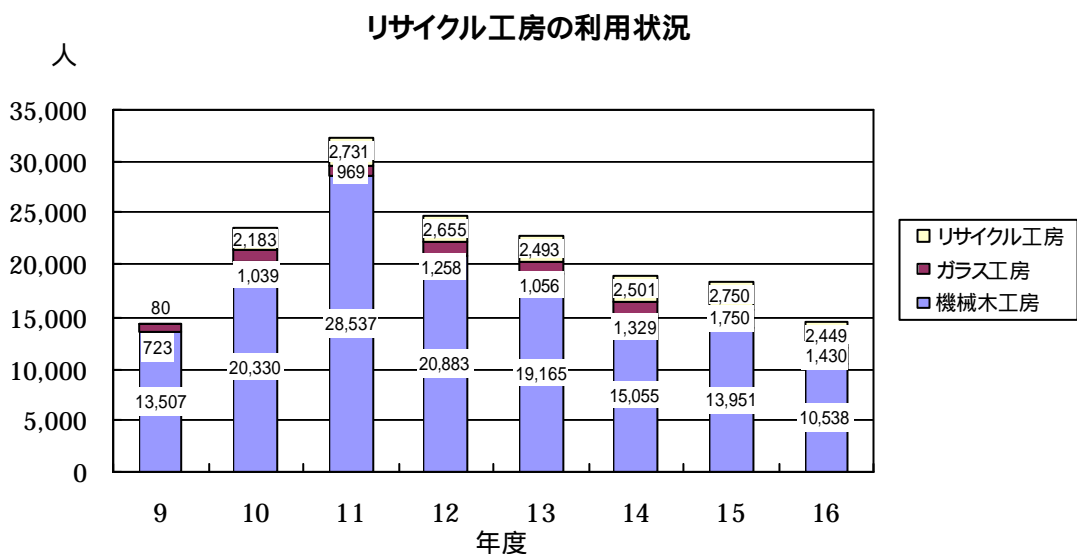
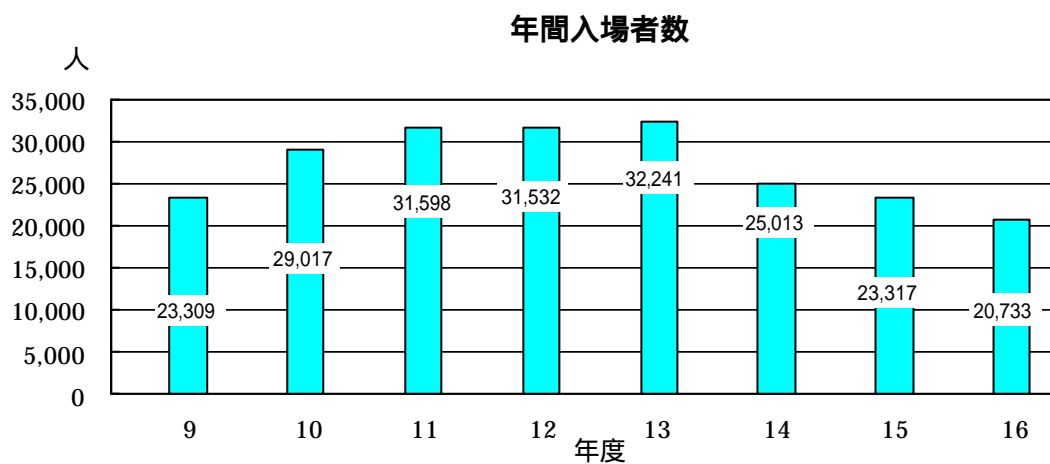
また、インターネットを通してこれらの環境情報の発信や、活動内容を紹介し、地球環境保全活動を推進していくことを目指します。

5-3-1 地球環境を守っていくために

エコ丸工房においては、市民や事業者が楽しみながら、気軽に体験・利用できるように地球環境保全に関するソフトウェアを充実したり、リサイクルを体験できる場所を提供することによって、環境意識や環境保全活動が向上することを願っております。

【インターネットホームアドレス <http://www.chusan.or.jp/>】

〔エコ丸工房の利用状況〕



5-3-2 省エネルギーの推進と新エネルギーの活用

事業所や家庭における節電などといった個別の省エネルギー対策が、主にとられています
が、さらに積極的な省エネルギー効率を高めるための取り組みを推進していく必要があります。

また、新エネルギーの活用などはまだ始まったばかりで、ほとんど利用されていません。
消費者は太陽光発電施設導入など新エネルギーを促進し、事業者は商品開発などを促進して、
新しいエネルギー社会の構築に努める必要があります。

